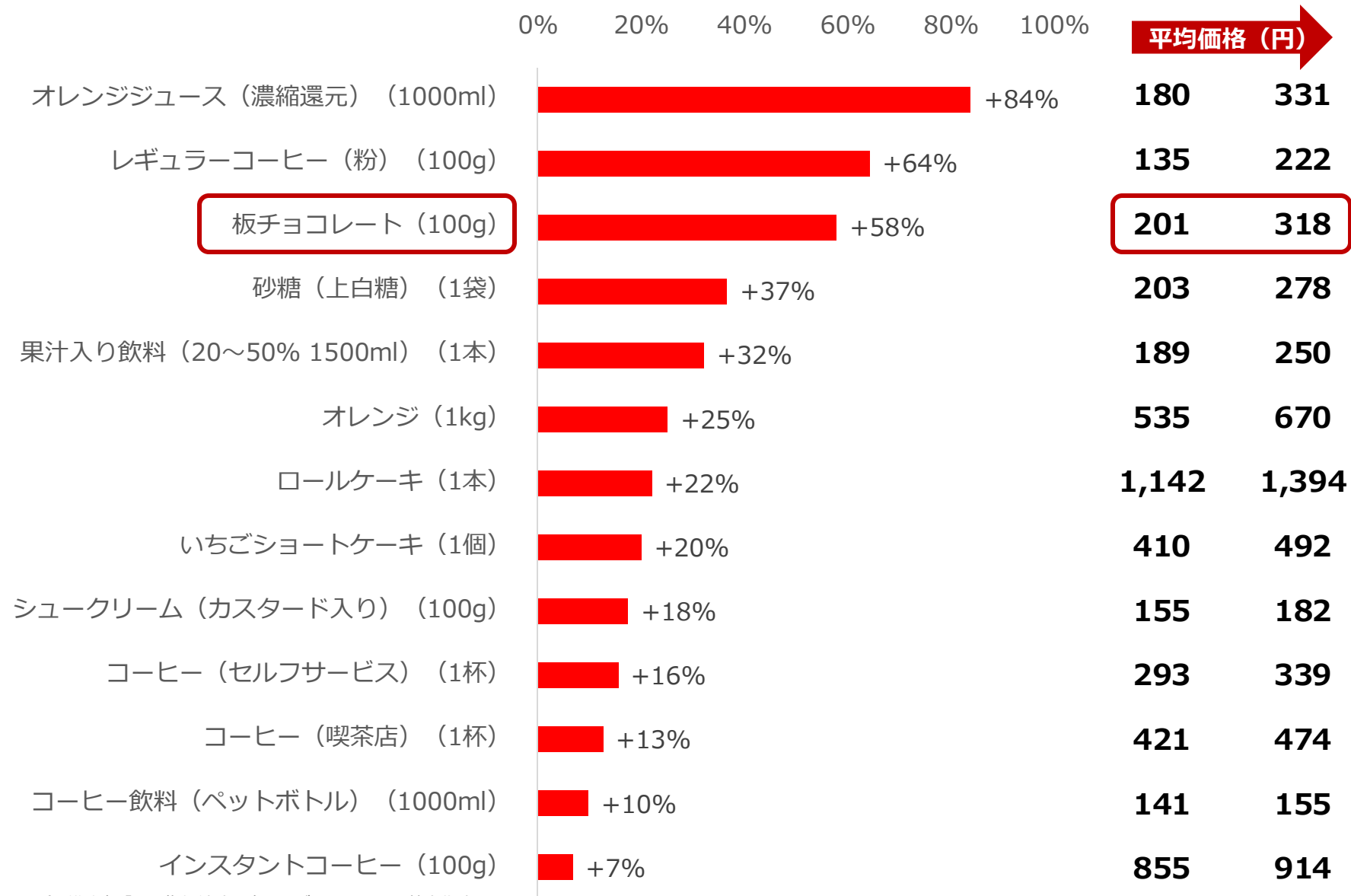


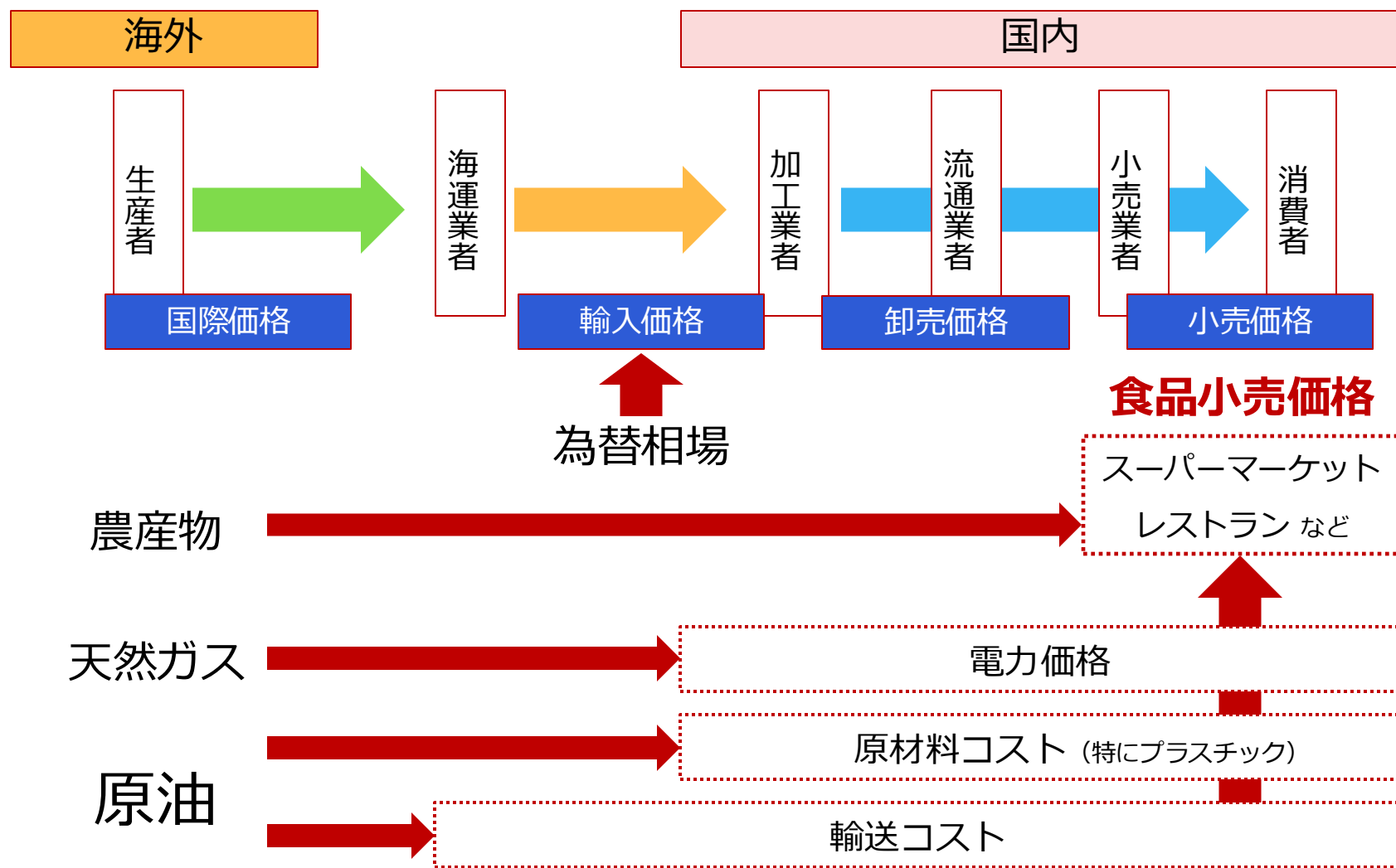
● 各種食品小売価格（県庁所在地平均）（2020年1月と2024年12月を比較）



出所：総務省「小売物価統計調査」のデータをもとに筆者作成

食品における嗜好品の価格は、総じて上昇している。

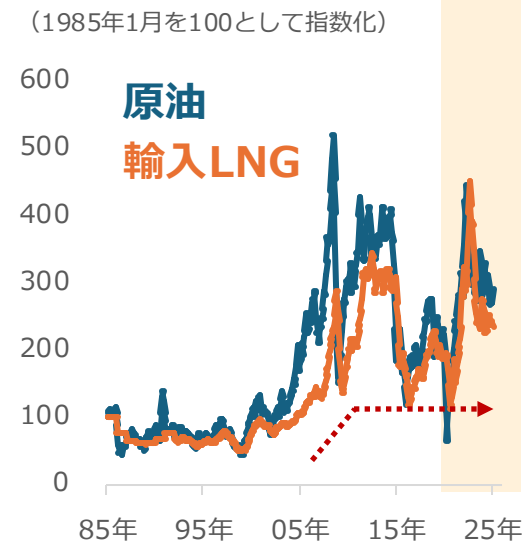
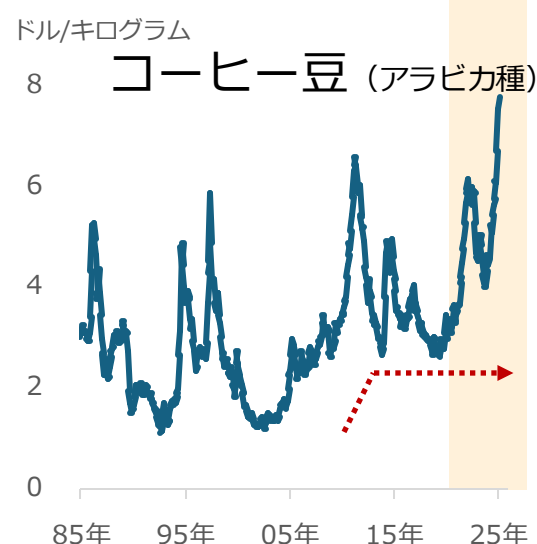
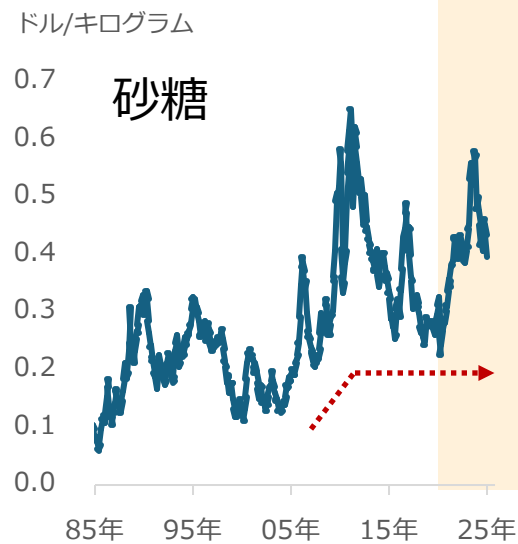
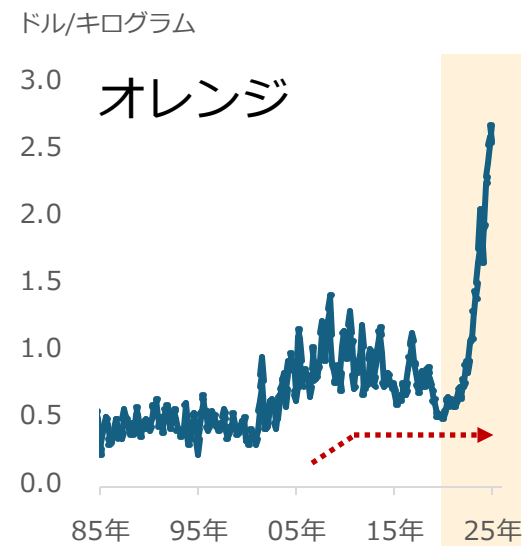
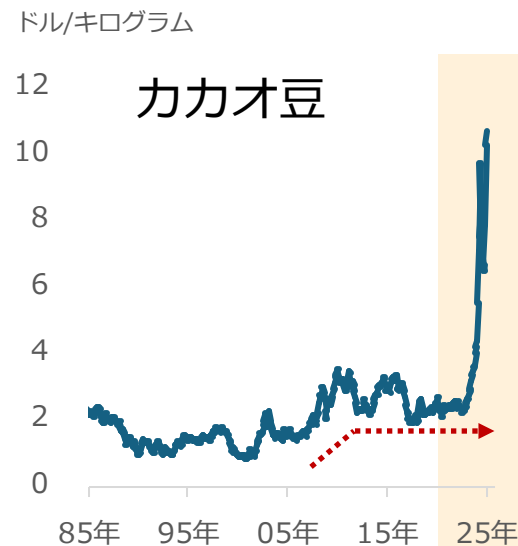
● 食品の小売価格が決まるまでの流れ（原材料が海外産の場合）



出所：筆者作成

食品小売価格に影響を及ぼす要素は、農産物の国際価格だけではない。

● 食品における嗜好品に関わる国際商品の価格推移



出所：世界銀行のデータをもとに筆者作成

短期視点の急騰と、長期視点の底上げが、同時進行。

● 食品における嗜好品に関わる国際商品の価格を押し上げている材料（2025年2月時点）

時間軸

テーマ

材料

短期

(1) 主要生産国での天候不順

カカオ豆・・・西アフリカ
コーヒー・・・ブラジル、インドネシア
オレンジ・・・ブラジル、米国 など

(2) 投機資金の流入

上昇トレンドに拍車をかける存在
複数の農産物に横断的に流入

(3) 主要国での景気回復

嗜好品を消費する人口が多い主要国で
景気回復傾向が目立っている

長期

(4) 世界的な人口増加

特に新興国で嗜好品を求める人口が増加
先進国における生活習慣の変化も影響

(5) ESG起因の価格上昇圧力

耕地面積の拡大鈍化（環境配慮）
生産者保護のムード情勢（人権配慮）

(6) 異常気象の頻発

世界各地で異常気象が頻発し、生産減少
懸念が高い状態が続いている

(7) 耕作地を他の用途へ転用

より収益性の高い植物の栽培や、
地中の鉱物資源の採掘を行うケース有

(8) 世界分断起因の出し渋り

食品における嗜好品の原材料を生産する
国々の民主度は低く、出し渋りリスク有

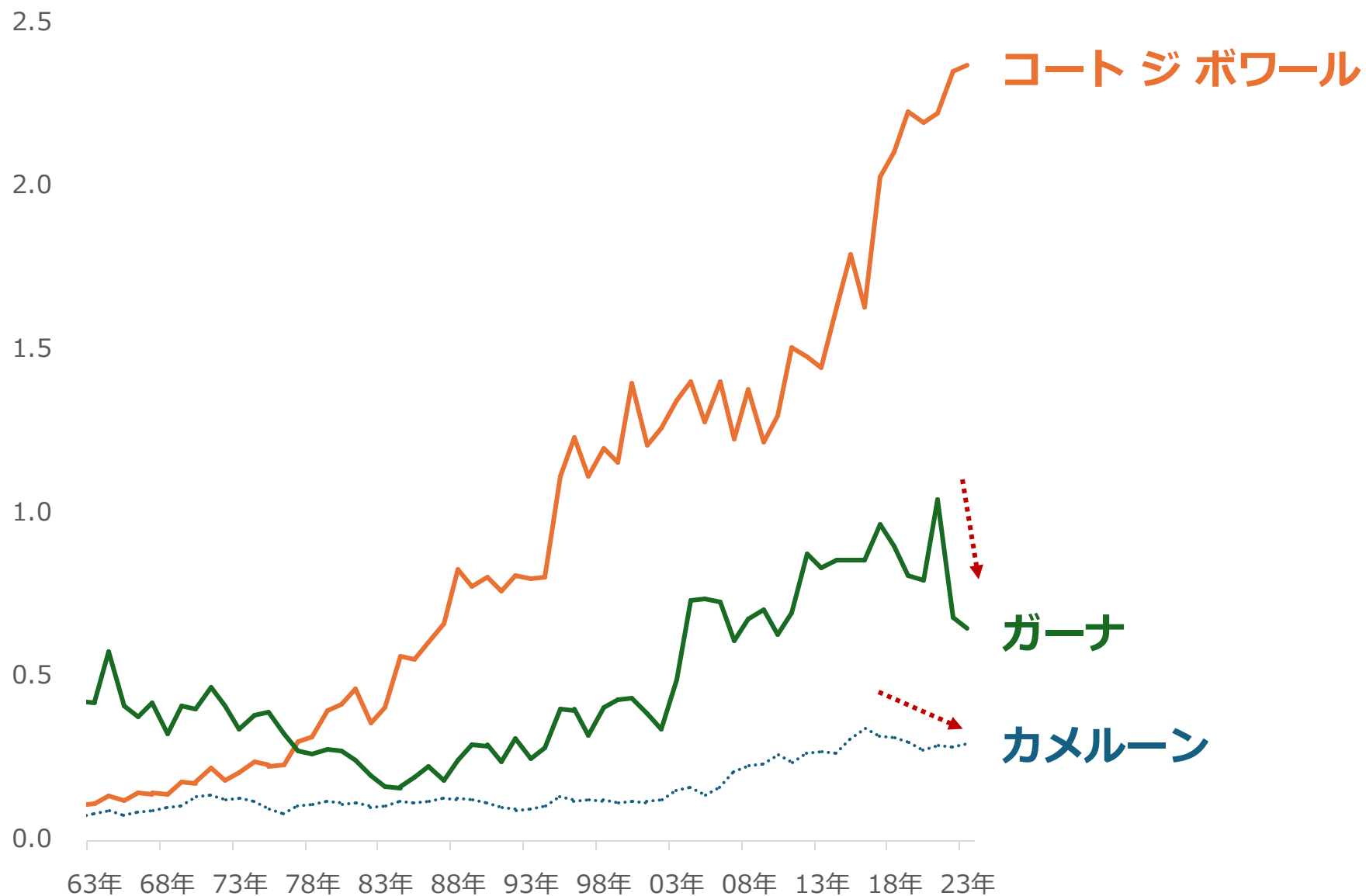
(9) エネルギー価格の高止まり

生産の現場で、輸送や燃料のコスト、
電気代が上昇している

出所：筆者作成

目に見えにくい、長期視点の材料の方が、影響は大きいかもしれない。

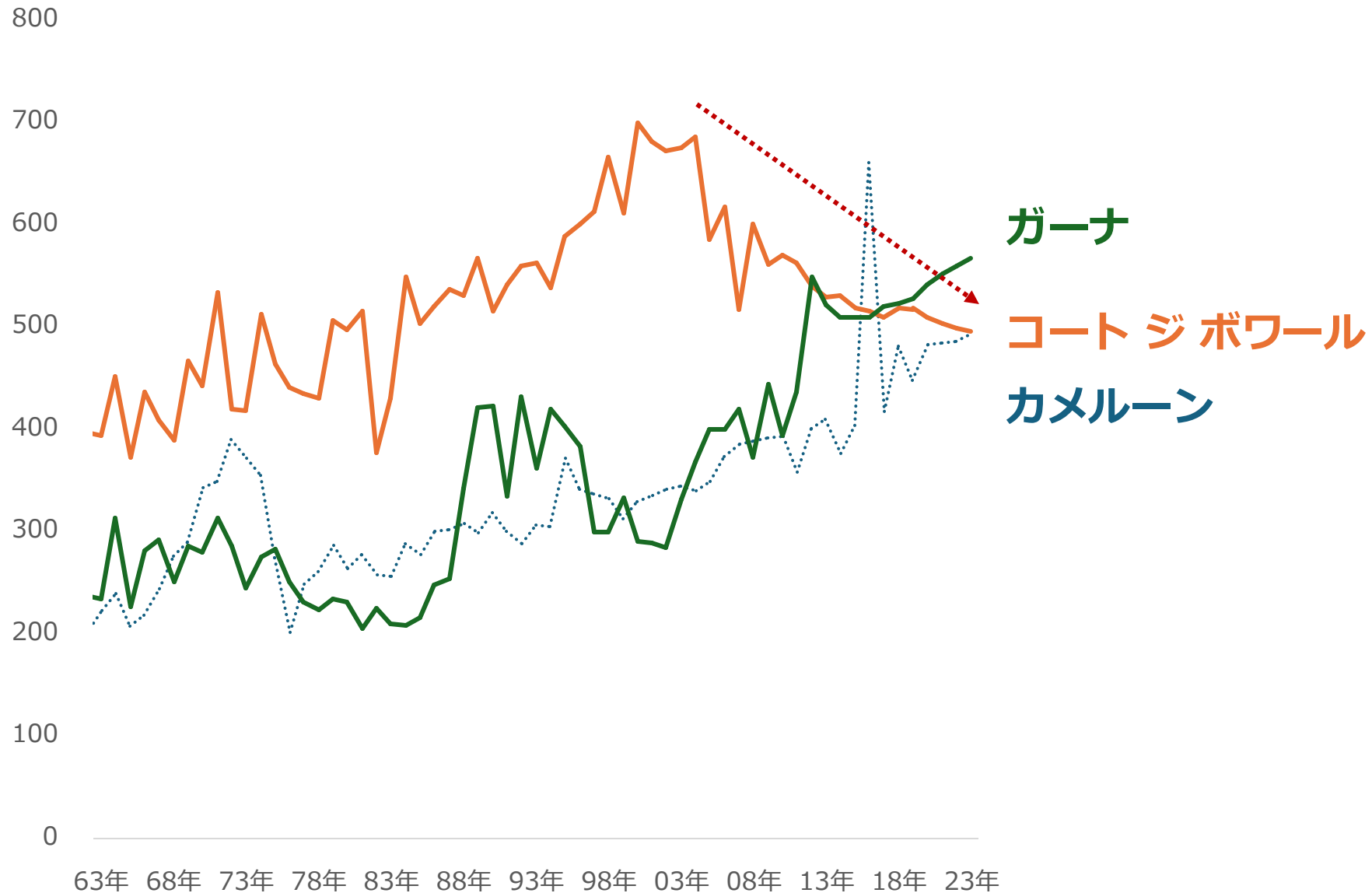
● カカオ豆の主要生産国における生産量 単位：百万トン



出所：FAO（国連食糧農業機関）のデータをもとに筆者作成

カカオ豆の生産量は一部の国で減少中。

● カカオ豆の主要生産国における単収 単位：キログラム/ヘクタール



出所：FAO（国連食糧農業機関）のデータをもとに筆者作成

最主要生産国であるコートジボワールの単収は低下傾向にある。

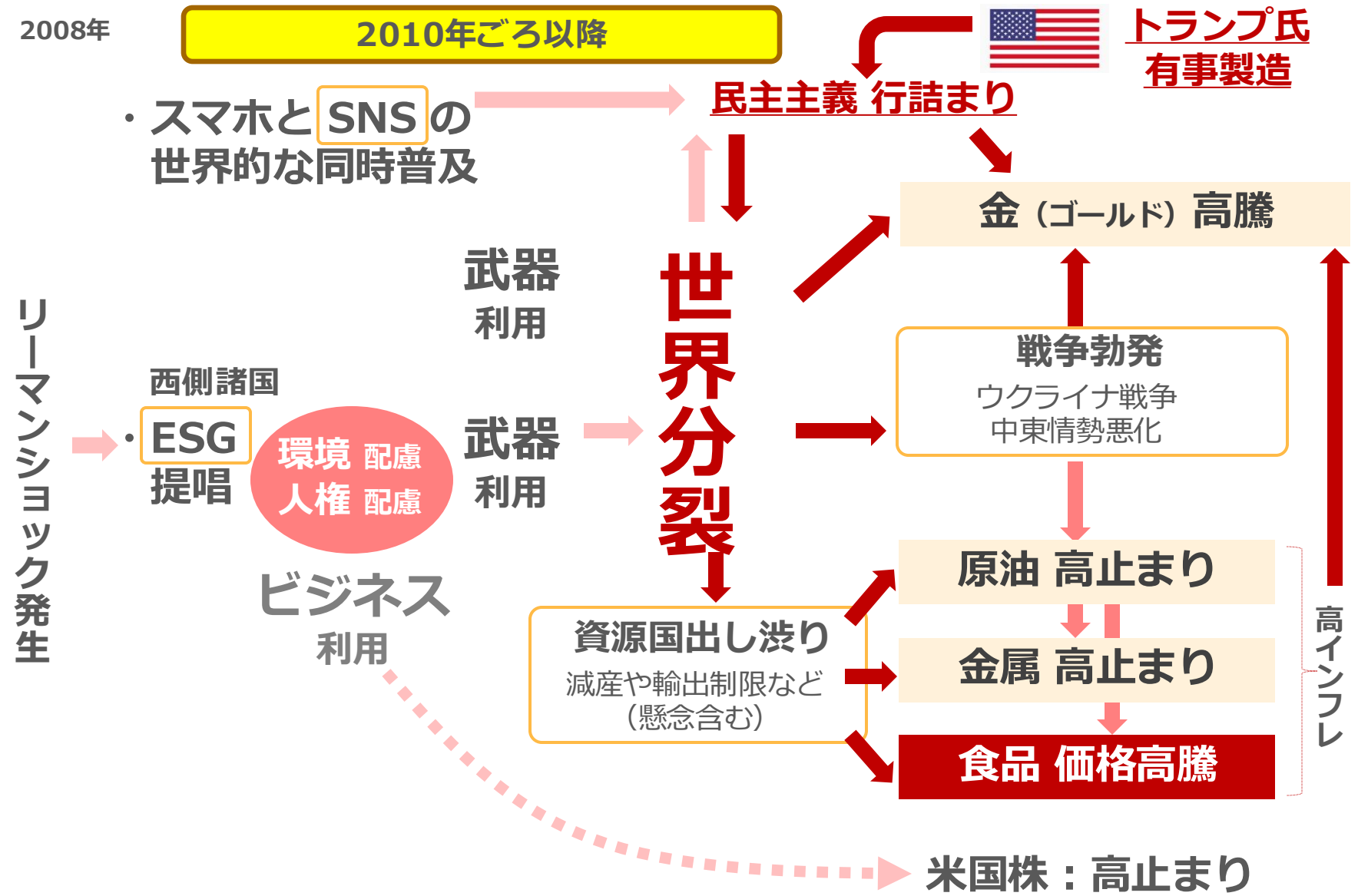
● 食品における嗜好品の主要生産国と自由民主主義指数（2023年）

No	カカオ豆	自由民主主義指数	コーヒー豆	自由民主主義指数	砂糖 (サトウキビと甜菜)	自由民主主義指数	オレンジ	自由民主主義指数
1	コートジボワール	0.25	ブラジル	0.69	ブラジル	0.69	ブラジル	0.69
2	ガーナ	0.56	ベトナム	0.11	インド	0.28	中国	0.04
3	インドネシア	0.36	インドネシア	0.36	中国	0.04	メキシコ	0.30
4	エクアドル	0.47	コロンビア	0.57	タイ	0.24	インド	0.28
5	ブラジル	0.69	エチオピア	0.11	パキスタン	0.21	エジプト	0.13
6	カメルーン	0.13	ホンジュラス	0.39	米国	0.77	インドネシア	0.36
7	ナイジェリア	0.33	ウガンダ	0.22	メキシコ	0.30	スペイン	0.75
8	ペルー	0.58	ペルー	0.58	ロシア	0.06	トルコ	0.11
9	ドミニカ共和国	0.44	インド	0.28	インドネシア	0.36	米国	0.77
10	コロンビア	0.57	中央アフリカ共和国	0.10	オーストラリア	0.80	イラン	0.08
	上記平均	0.44	上記平均	0.34	上記平均	0.38	上記平均	0.35
	生産シェア	93.2%	生産シェア	81.9%	生産シェア	74.4%	生産シェア	64.9%

出所：V-Dem研究所およびFAO（国連食糧農業機関）のデータをもとに筆者作成

食品嗜好品の主要生産国は総じて自由民主主義指数が低く、出し渋りリスク有。

● 2010年ごろ以降の世界分断発生とコモディティ（国際商品）価格上昇の背景



出所：筆者作成 イラストはPIXTA

トランプ氏が製造する有事は、世界分裂・長期視点の高インフレを加速させる。